全体計画、計画提案コンセプト（当校の紹介）

・「Ⅰ－１募集の趣旨」、「Ⅱ－１．活用の基本的な考え方」及び「Ⅱ－２．活用にあたり求めるマインド」等を踏まえ、本物件の活用方針（施設利用の方針）や提案事業コンセプトの実現につなげるための考え方を記載してください。
・文章だけでなくイラスト、イメージ図等を用いて説明してください。
・周辺環境への配慮（周辺交通環境への配慮、改修計画の形態・意匠について、良好な景観形成への配慮）についても記載してください。
・本審査では、法令関係等のチェックを行うものではありませんが、提案内容は必ず関係法令等を遵守し、実施できる計画としてください。

当校の教育理念

Mission（使命）

私たちの使命は、自信をもって生涯にわたって学習できる人材を育成することです。
それは、多言語が操れて、探求心が強く、偏見を持たず、そしてあらゆる文化を尊重する人です。

Vision（ビジョン）

我々のビジョンは、最先端の教育手法を用いて、優しくて、尊敬の念を持ち、思いやりの気持ちを持った、国際感覚あふれる人材を育成し、将来に亘ってより良い世界を形作るための手助けをすることです。

当校の沿革

2006年4月	大阪市西区北堀江の現在地に幼稚部開校
2012年4月	同地に小学部開校
2018年4月	同地に中学部開校
2019年3月	国際バカロレア（IB）初等教育プログラム（PYP）の認定校に認定
2021年3月	国際バカロレア（IB）中等教育プログラム（MYP）の候補校に認定

当校の教育特色

① 多様性を受け入れる寛容さと国際性

特定の人種・国籍、民族、宗教、性別に限定しない多国籍な生徒やスタッフを受け入れています。生徒やスタッフの出身国は20か国近くになっており、多様性が生み出すダイナミックな文化が当校の特徴であり、多様性を受け入れる寛容さと国際感覚に満ちた教育環境を生み出しています。

② 幼稚部から小中までの教育体制と　少人数制によるきめ細かな教育指導

現時点では、幼稚部（Pre School）から中学2年生（Grade８）までの学年編成で、約180名の生徒が在籍しており、最上級学年の進級に伴い、毎年１学年ずつ拡大し、将来的には高等部３年生（Grade12）までの一貫教育体制を計画しています。生徒に対する教師の比率を高くすることで生徒一人ひとりをよく知り、個々のレベルに合わせたきめ細かな教育指導で、学習や個人的･社会的成長を図っています。

③ 多くの教育的選択肢を提供（ＩＢ認定校）

当校は国際バカロレア（IB）のPYP（幼稚園・初等部）プログラムを採用しており、大阪府内でも数少ないIB認定校の一つです。将来的には、MYP（中等部）、DP（高等部）の認証を取得する計画（2023年と24年）です。IBプログラムに則った包括的教育を実施しており、多様な教育的選択肢を提供できる教育プログラムを取り入れております。

④ 英語イマージョン教育と日本語教育

世界平和に貢献するグローバルに活躍できる人材を育成することを目標に、外国人教師によるすべて英語での授業を行ってます（英語イマージョン教育）。また、生徒のレベルに応じて、国語（母国語としての日本語）もしくはJAL（Japanese as Additional Language 追加言語としての日本語）で、日本語の授業が組み込まれています。

⑤ 多文化共生の日常的な実践

当校は教育理念に「偏見を持たず、あらゆる文化を尊重する人の育成」を謳っています。学校主催のイベントや近隣学校との交流は、他国の文化、日本や地域の文化への理解や尊重の念を養う良い機会です。生徒、保護者、スタッフが互いに尊重し合い、心を開いて交流することをモットーに、多文化共生を日常的に実践しています。

全体計画、計画提案コンセプト（提案の背景と基本的な考え）

林寺小学校跡地活用計画

（1）防災拠点としての機能を有すること

（2）地域コミュニティ機能を有すること

（3）パブリックマインドと地域連携･地域貢献

（4）持続可能な跡地運営スキームの導入

（5）校舎活用の「エリアへの波及力」の視点

（6）学校跡地を核としたまちづくり構想の「学び」の視点

＋

私たちが実現したいこと

（1）「心技体」バランスの取れた理想の教育施設の実現

当校は責任感や思いやり、自立心といった「心」、学問や語学力の技術・知識の「技」、さらに健全な肉体と体力といった「体」の三つのバランスのとれた子どもの育成を理想としています。校舎だけでなくグランドや体育館も完備した施設で、理想とする教育を実現していきたい。

（2）幼稚部から高等部までの一貫教育校

一貫教育校は、進学時の環境変化によるストレスや心理的な不安がなく、最長16年間にわたる長いスパンで児童や生徒の成長を見守ることができ、学習面や生徒の指導･育成面で多くのメリットを享受することができます。

（3）国際バカロレア（IB）認定校

当校は、2019年に国際バカロレア機構より、幼児初等部（PYP＝Primary Years Programme）の認定を受けています。中等部（MYP＝Middle Years Programme）も候補校になっており、来年度認定される予定です。さらに近い将来、高等部（DP＝Diploma Programme）も認定を受ける計画です。IBの教育プログラムに則り、生徒に未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格の取得支援を行い、世界各国の大学への進学ルートや多様な選択肢を提供していきたい。

私たちが貢献できること

（1）地域での役割と貢献（地域コミュニティ機能と多文化共生社会）

・地域活動の拠点であることを認識し、災害時の地域防災拠点としての機能を果たすとともに、地域社会の一員として地域コミュニティの維持、活性化に貢献します。

・当校の教育理念の実践を通じて、多文化共生社会の実現に貢献していきます。

・ 開校時には300名近くの生徒や教職員が集まり、通学路をはじめ地域内に賑わいが生まれます。

（2）周辺エリアへの波及効果（地域活性化、様々な学びの機会）

・インターナショナルスクールの周辺エリアへは、通学希望の児童や生徒等の子育て世代の家族が転入してくることが見込まれ、まちの活性化が期待できます。

・近隣の学校との交流により、オールイングリッシュでのスポーツや授業体験など、様々な「学び」の機会を創出します。

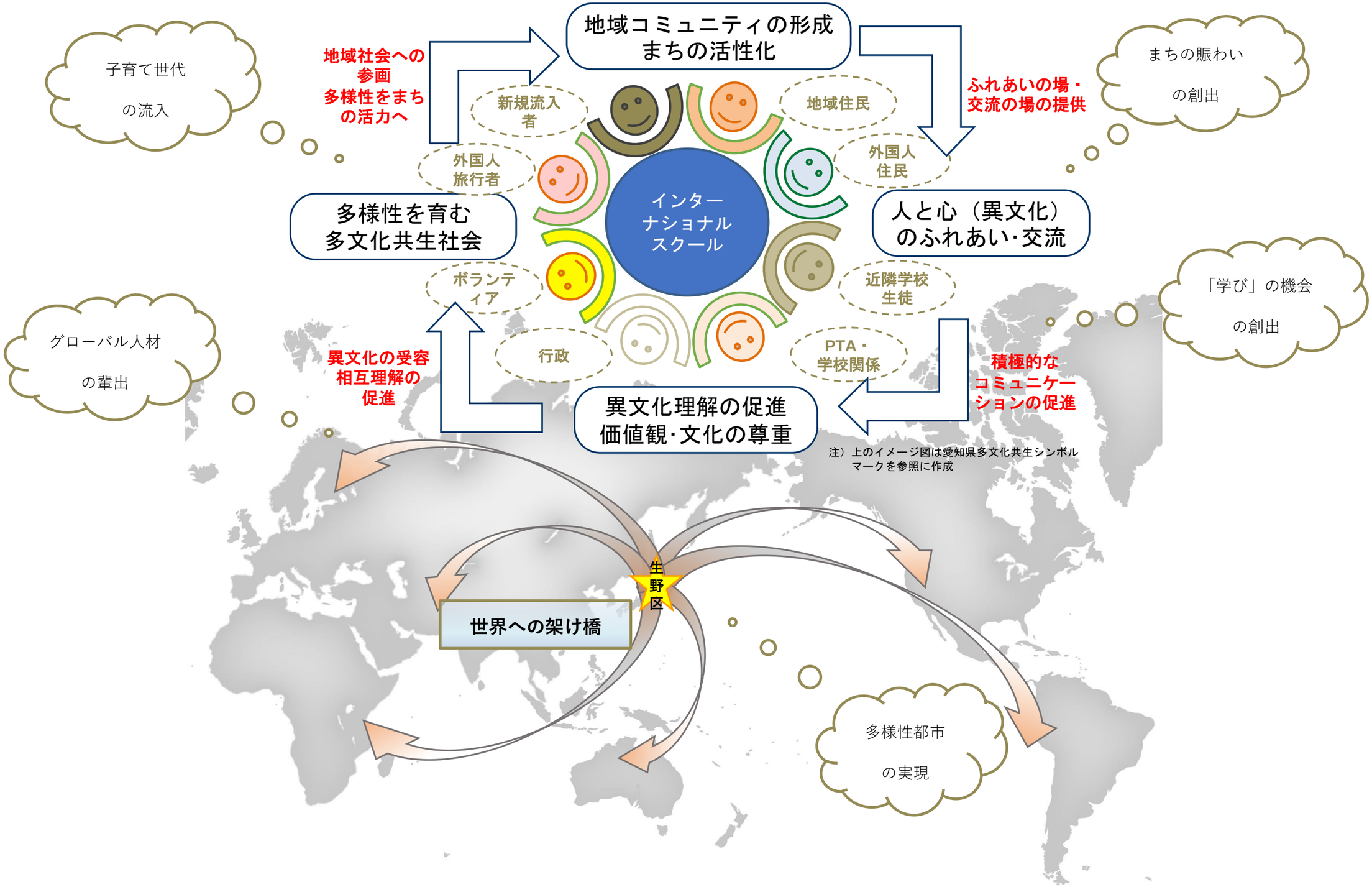
（3）大阪市への貢献（都市の魅力度向上、グローバル化）

・インターナショナルスクール事業を通じて、「大阪都市魅力創造戦略（大阪府･大阪市）」の重点テーマである、グローバル人材の育成、多様性都市の実現に貢献します。また、国内での都市間競争力を高めることに繋がります。

・ＩＢ認定校として海外進学支援を推進するとともに、外国人が安心・快適に暮らせる社会インフラとしての役割を積極的に担います。

・生徒や父兄は、様々な形で世界各地に移動します。生野区や大阪市の文化や魅力を理解した人々が、世界に拡がっていくことで、平和と交流の架け橋ができます。

【参考情報】
海外からの企業や人材を呼び込むためには、外国人駐在員や移住者が**安心して子供を預けられる教育機関の存在が不可欠**となります。また、海外で教育を受けた帰国子女も年々増加しており、**海外と同様の教育を継続したい**といったニーズは年々高まっています。

全体計画、計画提案コンセプト

人と心がふれあい、文化が交わり、寛容な多様性を育む。それは、いきいきとした魅力のあるまちをつくり、そして世界へ繋がる架け橋となる。多文化共生の草の根的な活動を推進（実践）するインターナショナルスクール